

ID ^{注1)}	221111	公開レベル ^{注1)}	B	保管形式 ^{注1)}	電子	保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	----	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	令和3年度 青鹿岳ハイマツ群落（鬼の坪）植生調査		発行年月/報告年月		
			2022年	3月	
			資料形式 ^{注2)}	その他	
調査機関	環境省 東北地方環境事務所、弘前大学		委託機関		
調査開始年	1984年	調査期間	2021年	9月	～ 2021年 9月
調査頻度 ^{注2)}	— — —	調査時期 ^{注2)}	秋	—	
モニタリング計画	2017年3月 改定	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	1
調査箇所・範囲 ^{注3)}			調査手法		
☒ 核心地域 ☐ 緩衝地域 ☐ 周辺地域 ☒ GPS等の位置データあり			<p>ハイマツは森林限界上部に分布する種であるが、青鹿岳では標高800m台に分布し、本州においては最低標高に分布する唯一の群落となっている。このため、特定植物群落の指定を受けており、追跡調査を実施している。</p> <p>【1984年】第3回自然環境保全調査（環境庁）（植生調査） 【1998年】第5回自然環境保全調査（環境庁）（植生調査）</p> <p>【2011年】「平成23年度白神山地自然環境保全地域植生調査業務」（環境省）（追跡調査）</p> <p>【2016年】特定植物群落追跡調査（弘前大学＋環境省） ・8方形区を設定 ・方形区ごとの植生調査 ・地温・気温測定</p> <p>【2017年】特定植物群落追跡調査（弘前大学＋環境省） ・2016年設定区とは別に3方形区を設定 ・3方形区についての植生調査 ・地温・気温測定 ・ドローンによる空撮（弘前大学）</p> <p>【2021年】特定植物群落追跡調査（弘前大学＋環境省） ・2016および2017年に設定した方形区についての植生調査 ・地温・気温測定 ・ドローンによる空撮（弘前大学） ・周辺生育樹木の幹周長計測</p>		
					
結果概要（スペースに収まるように入力してください）					
<p>（１）植生調査 ・2016年度調査と比べて大きな種組成の変化はみられなかった。</p> <p>（２）地温・気温測定 ・2017年度調査と比較すると地温（風穴内温度）に差がみられなかった。気温は今回の方が若干高い傾向がみられたが、計測場所、外気温の影響を受けるため、正確に比較するのは難しい。</p> <p>（３）ドローンによる空撮 ・詳細な空撮画像を撮影した。</p> <p>（４）周辺生育樹木の幹周長計測 ・ハイマツ群落に隣接して生育するナナカマド及びダケカンバ各4本について幹周長を計測した。今後も継続的な計測が望ましい。</p> <p>※今後、温暖化の影響がどのようにあられるかモニタリングする為には、定位置での観測が必要であると考えられる。景観を損なわない形でのモニタリング調査の検討が必要。</p>					
問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 《原本（データ）の帰属について》				

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。

注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。

注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。